

世界腎臓デーに合わせた **CKD 啓発イベント講演会**

ストップ・ザ・腎不全：～地域ごとの CKD 対策実践に向けて～

日時：2011年3月6日(日) 13時～16時

場所：東京ガーデンパレス (東京都文京区湯島1-7-5 TEL.03-3813-6211 「JR・東京メトロ 御茶の水駅」聖橋口徒歩5分)

主催：日本慢性腎臓病対策協議会、(財)日本腎臓財団

後援：厚生労働省、(社)日本医師会、(特非)腎臓病早期発見推進機構 [IKEA]、(社)全国腎臓病協議会

CKD 対策の輪を広げよう

毎年3月の第二木曜日を世界腎臓デーとして、慢性腎臓病 (CKD) への対策のキャンペーンが世界各国で行われております。我が国においては慢性腎臓病対策協議会が世界腎臓デーにおけるキャンペーン活動の中心的な役割を果たしてきました。慢性腎臓病対策協議会はCKD対策の重要性を広く啓発し、その対策を推進する目的で2006年6月に設立されました。慢性腎臓病対策協議会ではCKD啓発イベント講演会を翌2007年から世界腎臓デーに合わせて開催しており、今回で第5回目を迎えます。この世界腎臓デー関連のイベントは今年21都道府県に及びその輪が広がって行っております。

この間に新たな国民病であるCKDという概念は国民の間に広がって行きました。慢性腎臓病対策協議会では各都道府県に代表者を設け、都道府県代表者会議を開催させて頂き、地域での慢性腎臓病対策の活動の支援を行っております。厚生労働省もCKD対策に積極的に取り組んで頂き、慢性腎臓病特別対策事業として都道府県を単位とした、地域のCKD対策を支援して頂いております。また日本医師会にも、厚生労働省戦略研究FROM-Jなどで、地域におけるCKD患者の腎臓専門医とかかりつけ医との病診連携の推進にご協力を頂いております。また、厚生労働省科学研究「CKDの普及啓発のあり方に関する研究(秋澤班)」にて、CKD病診連携マニュアルが作成されましたが、近日中に各

都道府県医師会に送付され、本協議会ホームページ上にも掲載される予定です。

CKDの原疾患は糖尿病や高血圧が多く、治療の継続には栄養士さんをはじめとするコメディカルのサポートが不可欠です。CKD対策を実りあるものにするためには、腎臓専門医はもとより、かかりつけ医とコメディカル、行政が一体となって取り組む必要があります。

地域ごとのCKD対策の実践に向けて、皆さま方から積極的なご支援が頂けますようお願い申し上げます。



日本慢性腎臓病対策協議会
理事長 榎野 博史

World Kidney Day (世界腎臓デー)

国際腎臓学会 (ISN) と国際腎臓財団連合 (IFKF) は世界的な規模で、一般社会に対してより慢性腎臓病 (CKD) の重要性について認識を高めてもらうために、毎年3月第2木曜日を「世界腎臓デー」と制定して、世界各地で、キャンペーン活動を行うように呼びかけています。

